

変えよう鎌ヶ谷!市民が主役 県政通信

千葉県議会議員

# 岩波はつみ

発行日:2025,05,05 (No74)

発行者:千葉県議会議員 岩波初美

■岩波初美事務所■

〒273-0124 鎌ヶ谷市中央 1-1-34 前田ビル 3F

電話 047-445-5780 FAX 047-445-5790

メール kamagaya@iwanamihatsumi.com

活動ブログ <https://iwanamihatsumi.com>

【火中の栗を拾う覚悟で鎌ヶ谷に戻る】  
6月の市長選挙に挑む決意を記者発表した。県議を続けたとしても鎌ヶ谷市民に大きく貢献することは難しい。自身に残された体力が十分に働ける時間を地元で尽力したい。この大事なこととは他者に左右されず一人で決めた。鎌ヶ谷市財政のひっ迫は緊急度を増し、市内有数の企業・新京成本社が移転し、日ハム球場移転可能性にも備えが必要、クリーンセンター運営から柏市が撤退する時期は間もなく来る。火中の栗を拾う覚悟で緊張感を持って臨む。



## 「材料費高騰で応募者いない」と駅前用地が最低価格で公募期間2カ月のみ、応募は1社 駅前市有地、原価で民間に売却

市民参加の協議会もなく、駅直結の公共用地を失う

新鎌ヶ谷駅南口に広がる県有地は鉄道用地として取得し、後に鉄道事業が頓挫したことで、県から鎌ヶ谷市に活用打診がなされてきた。結果、2,100坪は県が公募で民間に売却し、マンションと商業施設が建設中。残りの580坪と170坪は市が購入し、その後民間に原価で売却し、事業所とテナントビルを予定中。

土地を購入した市が自ら使わず民間に売却したことは異例。3月市議会では「材料費高騰で応募者は一社のみ」と答弁。事業ビルなら駅直結でなくても支障はない。むしろイベント等広域から人が集まる公共広場こそ駅前にふさわしい。市民財産の

安価な売却に見合う市民利益とは何かは未定。駅前という特別な場所にて市民参加の協議会さえ作らずに、一部の関係者のみで決定して契約するという手続きには疑念が生じやすい。

広報かまがや 4/15号表紙写真より



### 実現不可能となった交流広場提案

昨年夏、市民は市長と知事あてにイベント広場設置要望書が提出した。鎌ヶ谷市にしかできない利活用を求めていた。

### 新鎌ヶ谷駅前南口 (勝手に理想図描きました)

- ①「企業活動拠点オフィス」を新鎌ヶ谷駅前に作り、古くなった鎌ヶ谷市商工会館をテナントとして移転。セミナー、イベント会場(100~150人収容、飲食可)・会議室大(50人~100人)、中(50人)、小(30人)・レストラン・テナント(事務所)・空飛ぶ車ヘリポート(エアタクシー)など最新設備と木の柱を使った話題性のあるビルに。
- ②新鎌ヶ谷駅周辺の回遊性を高めるため、道路を広げ広場を作り市民の憩いの場として整備。
- ③地形を活かしたすり鉢状の野外イベント広場
- ④コンテナハウスでカフェや鎌ヶ谷市の情報発信基地を作り、市民が賑わう交流エリアとして整備。



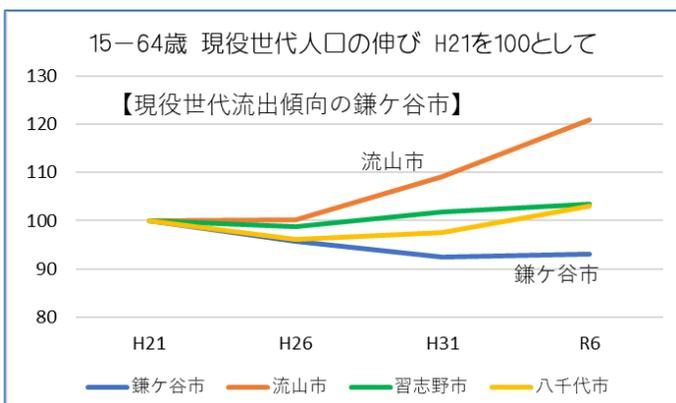
### 【実現不可能となった交流広場提案】

▲理想図作成:アート&デザインタッグ合同会社

## 県有地 12.8 億円は、3社で競争、31 億円で売却済み

	土地A病院側	土地B交番裏	土地Cイオン横
元所有者	千葉県	千葉県	千葉県
面積	2,100坪	580坪	170坪
鑑定価格	12億8千万円	6億5千万円	1億6千万円
坪単価	61万円/坪	112万円/坪	94万円/坪
売却先	民間	鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市
売却額	31億円	6億5千万円	1億6千万円
再売却先	↓(148万円/坪)	民間	民間
応募企業数	3社	1社	1社
最終売却価格	31億円	6億5千万円	1億6千万円
売却条件	自由通路を企業が造って提供	駅前にふさわしい土地活用。具体的な市民への利益は未確定	

## 現役世代に選ばれる街に必要な子育て支援とは 母子手帳交付時に保育所予約制度があったら安心!



待機児童ゼロだと…確か聞いたが、予定していたタイミングで保育園に入所できないという。生活設計が成り立たない。子育て現役世代に選んでいただくには保育所提供は必須。財政緊急事態だからこそ、市民が本当に必要とする子育て支援策を当事者たちに選定していただき、そこに投資していきたい。

### 岩波初美(イワナミ ハツミ)経歴

- 1959年(昭和34年)山梨県生まれ 鎌ヶ谷1丁目在住
- 夫・子ども3人・孫5人(岐阜県/大阪府在住)
- 千葉大学教育学部卒業、千葉工業大学大学院修士課程修了。
- 大学卒業後、生活協同組合職員8年、鎌ヶ谷市議会議員4期。NPO法人役員、会社役員を経て、アクアライン800円提言・実現。千葉工業大学特別講義講師11年間務める。NPO法人元気になろう福島理事、鎌ヶ谷市長選挙に3回挑戦。
- 現在 2019年4月より千葉県議会議員、知的障がい者グループホーム職員、児相と親子の架け橋千葉の会世話人、児童相談所のあり方を考える地方議員懇談会代表、北千葉道路地下化で街づくりの会顧問

# 人の和と大地の力で経済を動かす 市民サービスの財源をつくる

## 出かけたくなる街をつくる

**1 北千葉道路を活かした北西部地域の街づくり**  
北千葉道路現計画の再検討(船取線直進の是非、高架構造の是非、市内道路渋滞回避…)

**2 各駅周辺は交流の場所へ**  
人が行き来できる通路と広場を設置、イベント・日曜市等で交流を図る

**3 飛行場と自然を活かした北部地域の街づくり**  
災害時も自宅を過ぎせるゆとりのエコタウン

**4 貝柄山公園を憩いの場に**  
飲食店を公園内に誘致

**5 『野馬追とっこめ公園』プロジェクトを設置**

**6 農地とスポーツ施設を活かした南部地域の街づくり**  
体験農園  
農家レストラン  
直売市場  
野球場他スポーツ施設

**7 歩道を広げ美しい住宅地を増やす**  
右折レーン設置を実現させる

初富交差点の大仏交差点の

## 出かけたくなる街を楽しむ

## 出かけたくなる街を活用する

介護予防・疾病予防で現役世代の負担を軽減

① 通いの場・働く場を各地に展開

② 地域バス・乗合タクシーで移動の自由確保

首都圏災害の広域避難の受け皿となる

① 非常時への準備と訓練で安心をつくる

② 首都圏からお客さんを招く場を非常時には広域避難に役立てる

避難所